

# 平成 20 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震災害 写真報告 (第 3 報)

調査日 2008. 6. 17, 18

作成日 2008. 6. 20

## ■栗原市役所付近の様子



災害対策本部のある市役所遠景。建物に大きな被害はなく、庁舎前の国道 4 号線も交通規制は行われていない。



応急危険度判定実施など多くの人員を受け入れるため、臨時駐車場が設置されていた(17日まで)。



大きな被害はないが、壁面タイルの落下、屋外階段部の破損など、細部には地震による被害があった。



国道 4 号線では震災復旧工事のため一部歩道が使えなくなっていた。

## ■消防活動の様子



消防本部は緊急消防援助隊(宮城側)集結地となっていた。



岩手・宮城併せ,最大時 204 隊(航空 16,地上 188)が活動した。

## ■土砂災害の様子



築館地区の土砂災害の様子。市役所の西 1km 程の場所で発生した。



住家のすぐ裏手で発生していることが分かる。



鶯沢地区の土砂災害の様子。後ろは鶯沢工業高校。



よう壁を押し出すように崩れている。手前の道路は土砂に埋まっている。

## ■被害の様子（危険度判定）



応急危険度判定実施の様子。緑の用紙が貼られている。



写真の旧駅舎も応急危険度判定の対象となっていた。

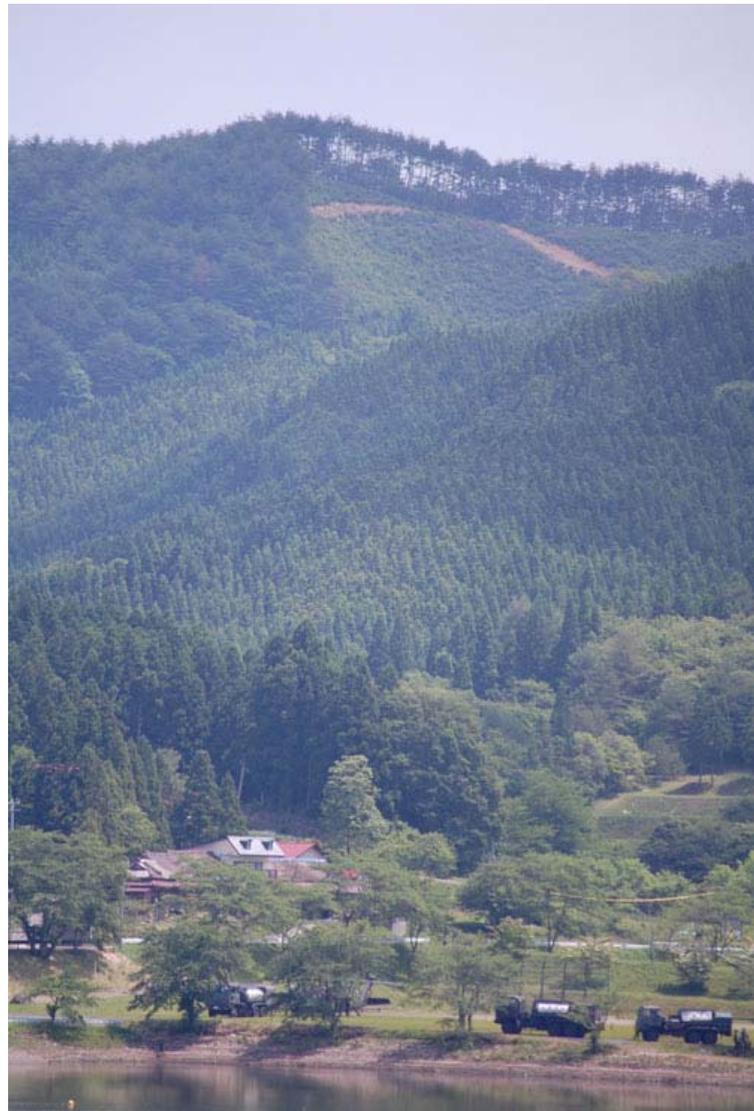
## ■栗原市花山地区への様子



被害が多く発生した花山地区へは、一迫か鶯沢地区から入ることができた。鶯沢地区からは写真の道路を通る。



左の写真と同じ場所から反対(上流)側を見る。道路の左側は水田となっている。



花山湖畔にはヘリポートが設置されていた。



ヘリポートでは、自衛隊のヘリコプターが頻繁に離発着していた。



山の稜線付近では、地震によるものと思われる亀裂が見られた。

## ■花山総合支所の様子



花山地区災害対応の拠点である総合支所には、多くの人員と資機材が集まっていた。



報道関係の車両も多く集まっていた。



18日、福田首相の現地視察があった。首相の左は栗原市災害対策本部長である佐藤市長、右は村井(宮城県)知事。



視察のあと、首相への取材があった。



首相が帰ったあと、続いて知事と市長への取材があった。



写真の人垣の奥で、知事と市長が取材を受けている。



避難所の脇には、一時帰宅のためのマイクロバスが用意されていた。



花山総合支所の裏手の様子。自衛隊、報道、ライフライン、日本赤十字など各種機関の車両が停まっていた。



花山総合支所は国道 398 号線沿いにあるが、支所から上流側 1km ほどで国道は土砂災害により通行止めとなっていた。